

## 空き店舗ツアーと新規出店者への支援を あわせて行っている取組 (愛知県豊橋市)

### 【支援措置】

中心市街地活性化ソフト事業 総務省【事業経費の1/2を特別交付税により措置】  
(まちなかインキュベーション&チャレンジング事業)

### 【事業費】

約1,300万円(対象経費1,300万円)【平成30年度実績】

賃貸料や店舗改装費に対して補助金を交付するとともに空き店舗ツアーを行うことによって新規出店者の起業を促進する取り組みである。

より効果的な商店街空き店舗対策を模索する中で、新規店舗探しに苦労していた新規創業者等のニーズもあり、希望する店舗や貸し出す意志のあるオーナーとのマッチングに期待できる「空き店舗ツアー」をまちづくり会社である(株)豊橋まちなか活性化センターが主体となって平成27年度より実施した。その際に専門的知識を有する建築士会の協力を得て、その場で改装の相談に乗ってもらうことにより、より多くの出店機会を創出した。

インキュベーション&チャレンジング事業については、(株)豊橋まちなか活性化センターが主体となり、補助金の原資は市が中心市街地活性化ソフトを活用し全額支出している。新規創業者の改装費補助は限度額50万円(補助対象額の20%)、賃借料補助は1年目150万円(家賃の3分の2)、2年目112万5千円(家賃の2分の1)、3年目75万円(家賃の3分の1)を限度として支援をおこなっており、総額で最高3,875千円の補助を受けることが可能であり、平成26年度から30年度までの5年間で利用実績はあわせて22件となっている。

令和元年度に行われた最終フォローアップの結果によると、5年間で107店あった空き店舗が78店になり、目標値である90店を大きく超える結果となったほか、商店街が新たなイベントを開始しにぎわいを創出するなど、取り組みの効果が確認できた。

【計画書の事業名】 商店街空き店舗対策事業、まちなかインキュベーション&チャレンジング事業



〈空き店舗ツアーの様子〉



〈空き店舗ツアーの様子〉

